

元気



現場レポート

この間の耐震改修工事の現場のお話をさせていただきます。

耐震改修を行った茨木市のI様宅、平成7年の家ではあったものの、地盤（基礎から下の土の部分）が約10cm下がっており、その為家が傾いているというものでした。その当時、地盤の事までしっかりしている分譲住宅が少なく、数年で田んぼの方に傾いたとの事です。

相談依頼を受け、建物を完全にあげるという工事は費用がかかりすぎるという事から、地盤注入工事（基礎から下の土を固めると言う工事）を行う事になりました。今以上に下らない様にする工事です。この工事の良い所は多少家が持ち上がる効果も期待できる所です。その後、増築と内部の耐震補強工事を行いました。

平成の家とは言え、昭和56年6月1日～平成12年3月31日に建てられた住宅も当時の耐震基準で、耐震上問題があるとされるからです。

お客様は住みながら工事して欲しいと言う事で、生活の動線を生かしたまま工事を行う事ができて、耐震上も工事内容も大満足されていました。この注入工事で感じたのは、騒音も発生せず、工事もすごく簡単に施工できるという事が驚きでした(´0´)／



### 住宅版エコポイント制度

平成22年12月31日まで

断熱・防音効果の  
インプラスを設置



たとえば

2.8㎡以上の窓×1 18,000ポイント

1.6㎡以上2.8㎡未満の窓×2 24,000ポイント

合計 42,000ポイント

リフォーム  
最高  
30万  
ポイント

さらに

固定資産税の控除…1年間 1/3 減額  
所得税の控除…最大20万円

詳しくは、お気軽に  
お問合せください。

新築  
一律  
30万  
ポイント

リフォーム

1. 窓の断熱改修(ガラス交換、内窓設置、外窓交換)
2. 外窓、屋根・天井または床の断熱改修
3. 1または2に併せて行うバリアフリー改修

1ポイント  
1円相当

新築

1. 省エネ法のトップランナー基準相当の住宅
2. 省エネ基準(平成11年基準)を満たす木造住宅

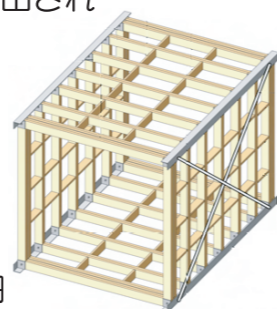
### 耐震シェルター j. Pod 工法



耐震改修が難しいとされる古い木造家屋の倒壊から身を守る手段として生み出されました。

たとえば1階の1室をj. Pod改修すれば、たとえ地震で2階が崩れてきても、この部屋にいれば安心。家の中の避難場所。

《j. Pod》 約100万円～150万円



j. Podは、□の字型に組んだ木枠を等間隔に並べて、一部を鋼材で補強した強力な耐震性能のある「箱」=Pod。

大阪市は最大100万円補助

建物所有者の年間所得1200万円以下などを条件に、100万円を限度に改修費用の50%以内を補助する。

★★★ 特集の続き ★★★

# 屋根・外壁・耐震 防水

# リフォーム

# 国が一部補助します

期間  
9月  
30日  
まで  
契約分

※補助金に限りがあります

その補助金

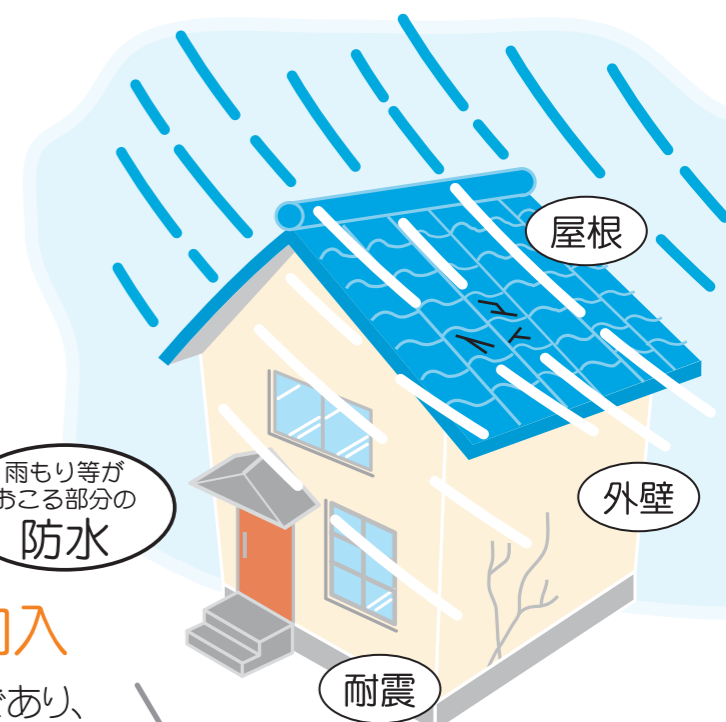


リフォーム工事費用の

## 25%還元します

### 条件

- ☑昭和56年6月1日～平成12年3月31日に建てられた住宅
- ☑構造又は防水工事を伴うリフォーム工事に、その他のリフォーム工事を追加したもの



雨もり等がおこる部分の  
防水

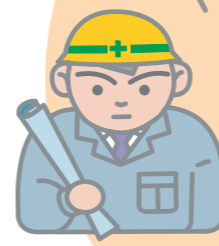
屋根

外壁

耐震

### リフォーム瑕疵保険加入

※「瑕疵」とは「きず」のことであり、法律上なんらかの欠陥があること。



かし保険法人

◎国指定の「瑕疵保険法人」が、建物調査を実施。

◎万が一、欠陥があった場合保険金により修復。

第三者機関の調査が入ることにより安心してリフォームできます。

### 住宅履歴登録

◎売買するときに、履歴情報がある住宅は、資産価値が適切に評価されます。

◎災害時に履歴情報に基づいて迅速かつ適切な復旧や補修ができます。

住宅履歴情報

☆リフォーム瑕疵保険、住宅履歴にかかる費用も国が補助しています。